

平成24年三重県消費者物価指数の動向

1 概 要

三重県…平成24年平均の三重県消費者物価指数は、平成22年を100とした総合指数で100.3となり、前年に比べ0.2%の上昇でした。

また、持家の帰属家賃を除く総合指数は100.4で、前年に比べ0.2%の上昇でした。

全 国…平成24年平均の全国消費者物価指数は、平成22年を100とした総合指数で99.7となり、前年と同水準でした。

また、持家の帰属家賃を除く総合指数は99.7で、前年と同水準でした。

平成13年からの三重県消費者物価指数の動きを総合指数で見ると、平成13年から平成14年までは下落し、平成18年から平成20年までは毎年上昇しました。平成21年から平成22年は下落し、平成23年から平成24年は上昇しました。(図1、表1、統計表第1表)

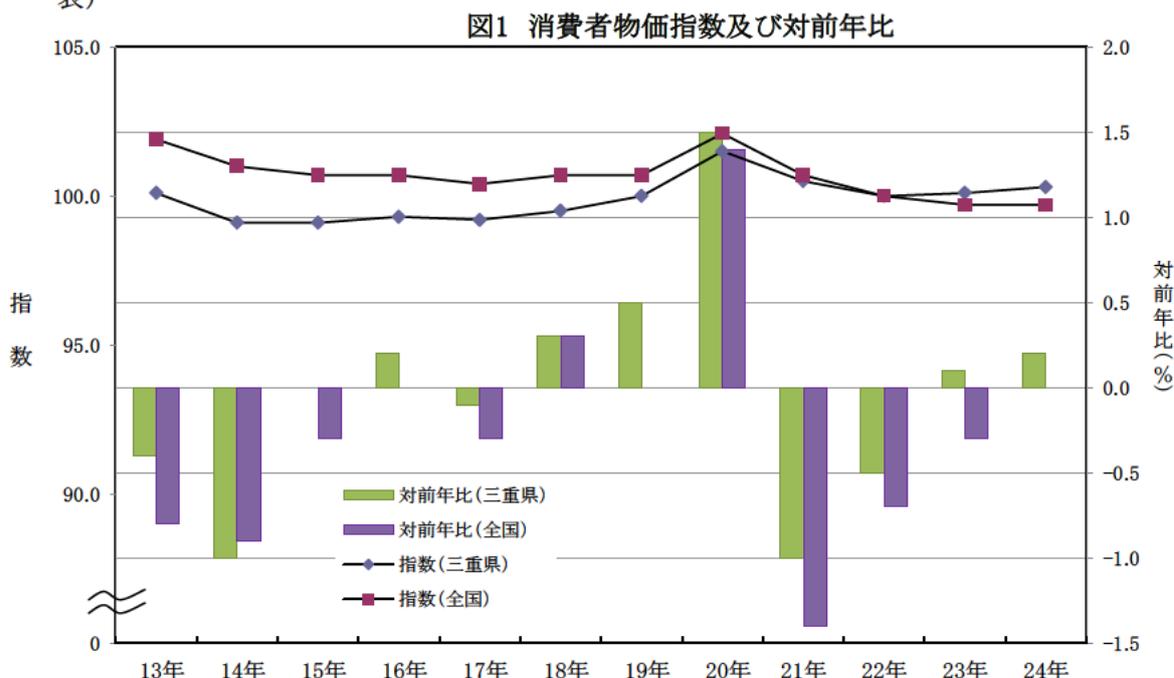


表1 総合指数と対前年比の推移

平成22年 = 100

	三重県				全国					三重県				全国			
	総合	対前年比 (%)	総合 (※)	対前年比 (%)	総合	対前年比 (%)	総合 (※)	対前年比 (%)		総合	対前年比 (%)	総合 (※)	対前年比 (%)	総合	対前年比 (%)	総合 (※)	対前年比 (%)
平成13年	100.1	-0.4	100.8	-0.7	101.9	-0.7	102.2	-0.9	平成19年	100.0	0.5	100.1	0.4	100.7	0.0	100.7	0.1
平成14年	99.1	-1.0	99.8	-1.0	101.0	-0.9	101.0	-1.1	平成20年	101.5	1.5	101.9	1.8	102.1	1.4	102.3	1.6
平成15年	99.1	0.0	99.6	-0.2	100.7	-0.3	100.7	-0.3	平成21年	100.5	-1.0	100.5	-1.4	100.7	-1.4	100.8	-1.5
平成16年	99.3	0.2	99.6	0.0	100.7	0.0	100.7	0.0	平成22年	100.0	-0.5	100.0	-0.5	100.0	-0.7	100.0	-0.8
平成17年	99.2	-0.1	99.4	-0.2	100.4	-0.3	100.3	-0.4	平成23年	100.1	0.1	100.1	0.1	99.7	-0.3	99.7	-0.3
平成18年	99.5	0.3	99.7	0.3	100.7	0.3	100.6	0.3	平成24年	100.3	0.2	100.4	0.2	99.7	0.0	99.7	0.0

※ 持家の帰属家賃を除く総合：持家の帰属家賃は、持家の住宅を借家とみなした場合に支払われるであろう家賃を推計したもので、

実際の市場価格ではないので、特にこれを除外した「持家の帰属家賃を除く総合指数」を示しています。

2 年間の動き

平成24年における三重県消費者物価の総合指数の動きについて、月別に対前月比及び対前年同月比をみると、次のとおりでした。(表2、表3、図2、統計表第2表)

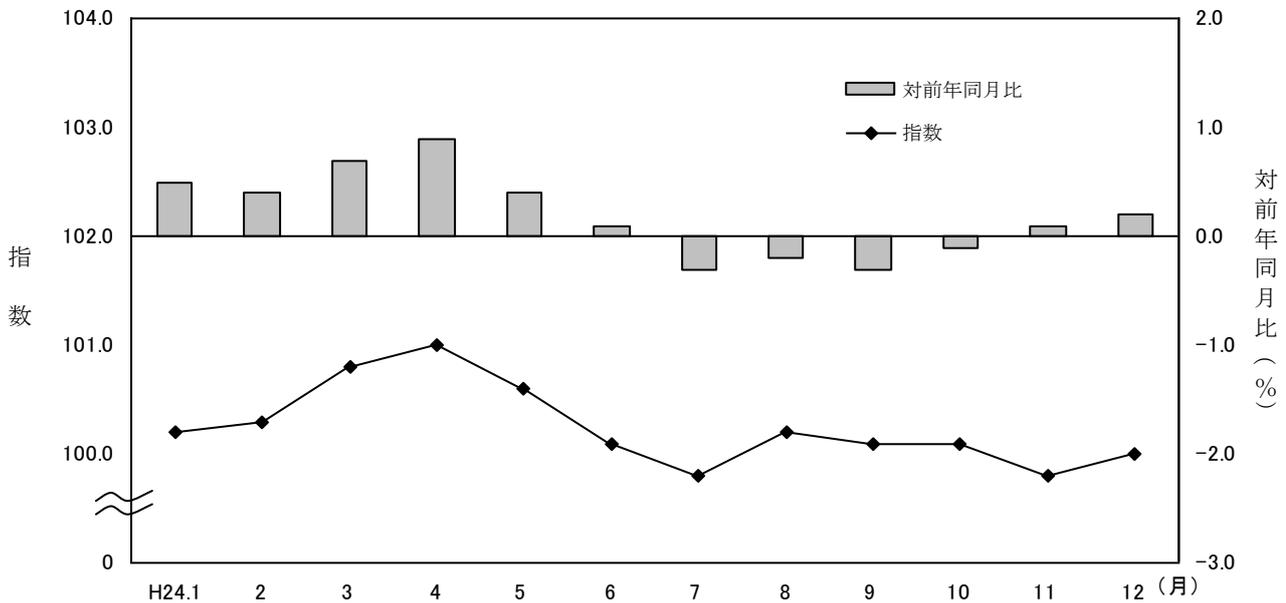
表2 三重県の総合指数・対前月比と主な変動費目

月	総合指数 (対前月比 (%))	上昇した 主な費目 (対前月比)		下落した 主な費目 (対前月比)		(参考)		
						全国総合指数 (対前月比 (%))	持家の帰属家賃を 除く総合 (対前月比(%))	
							三重県	全国
1月	100.2 (0.4)	果物 14.8% 野菜・海藻 11.2% 家庭用耐久財 10.5%	教養娯楽用耐久財 -5.0% 他の被服類 -4.5% シャツ・セーター・下着類 -3.4%	99.6 (0.2)	100.3 (0.5)	99.7 (0.3)		
2月	100.3 (0.1)	教養娯楽用耐久財 21.7% 寝具類 2.9% 果物 2.1%	家庭用耐久財 -4.1% シャツ・セーター・下着類 -4.0% 魚介類 -2.3% 衣料 -2.3%	99.8 (0.2)	100.4 (0.2)	99.9 (0.2)		
3月	100.8 (0.4)	他の光熱(灯油) 6.8% 他の被服類 4.7% シャツ・セーター・下着類 2.9%	家事用消耗品 -1.6% 肉類 -1.5% 保健医療用品・器具 -1.2%	100.3 (0.5)	101.0 (0.5)	100.4 (0.6)		
4月	101.0 (0.3)	教養娯楽用耐久財 10.6% 家庭用耐久財 3.5% シャツ・セーター・下着類 3.2%	果実 -13.6% 肉類 -1.7% 油脂・調味料 -1.5%	100.4 (0.1)	101.3 (0.3)	100.5 (0.1)		
5月	100.6 (-0.4)	果物 5.1% 寝具類 3.0% 医療品・健康保持用摂取品 1.3%	教養娯楽用耐久財 -6.5% 家庭用耐久財 -4.9% 野菜・海藻 -3.5%	100.1 (-0.3)	100.8 (-0.5)	100.2 (-0.3)		
6月	100.1 (-0.6)	穀類 2.3% 履物類 2.3% 乳卵類 1.6%	果物 -7.2% 野菜・海藻 -6.9% 教養娯楽用耐久財 -6.7%	99.6 (-0.5)	100.2 (-0.7)	99.6 (-0.6)		
7月	99.8 (-0.3)	寝具類 3.2% 教養娯楽サービス 1.1% 交通 0.9%	果物 -5.4% 他の被服類 -4.5% 家庭用耐久財 -3.3%	99.3 (-0.3)	99.8 (-0.4)	99.3 (-0.3)		
8月	100.2 (0.4)	果物 8.1% 教養娯楽サービス 3.4% 家庭用耐久財 1.8%	シャツ・セーター・下着類 -5.2% 菓子類 -1.3% 他の光熱 -1.2%	99.4 (0.1)	100.2 (0.5)	99.4 (0.2)		
9月	100.1 (-0.1)	シャツ・セーター・下着類 6.2% 他の光熱(灯油) 2.1% 菓子類 1.9%	果物 -9.1% 教養娯楽サービス -3.2% 野菜・海藻 -2.0%	99.6 (0.1)	100.2 (-0.1)	99.6 (0.2)		
10月	100.1 (0.0)	他の被服類 5.0% 野菜・海藻 2.3% 衣料 1.9%	寝具類 -3.1% 教養娯楽用耐久財 -1.9% 果実 -1.8%	99.6 (0.0)	100.2 (0.0)	99.6 (0.0)		
11月	99.8 (-0.3)	シャツ・セーター・下着類 2.5% 理美容用品 1.4% 教養娯楽用耐久財 1.2%	果物 -2.4% 教養娯楽サービス -2.1% 他の被服類 -1.9%	99.2 (-0.4)	99.8 (-0.4)	99.2 (-0.4)		
12月	100.0 (0.2)	果物 14.5% 野菜・海藻 3.7% 家庭用耐久財 1.8%	肉類 -3.2% シャツ・セーター・下着類 -1.4% 家事用消耗品 -1.0% 室内装備品 -1.0%	99.3 (0.0)	100.1 (0.2)	99.3 (0.1)		

表3 三重県の総合指数・対前年同月比と主な変動費目

月	総合指数 (対前年同月比 (%))	上昇した 主な費目 (対前年同月比)	下落した 主な費目 (対前年同月比)	(参考)		
				全国総合指数 (対前年同月比 (%))	持家の帰属家賃を 除く総合 (対前年同月比 (%))	
					三重県	全国
1月	100.2 (0.5)	肉類 8.2% 電気代 7.4% 他の光熱(灯油) 6.5%	教養娯楽用耐久財 -29.5% 家庭用耐久財 -5.1% 室内装備品 -3.8%	99.6 (0.1)	100.3 (0.6)	99.7 (0.2)
2月	100.3 (0.4)	肉類 9.8% 電気代 8.2% 穀類 7.1%	教養娯楽用耐久財 -22.9% 家庭用耐久財 -9.5% 室内装備品 -5.0%	99.8 (0.3)	100.4 (0.5)	99.9 (0.4)
3月	100.8 (0.7)	電気代 8.3% 他の光熱(灯油) 7.8% 果物 7.5%	教養娯楽用耐久財 -16.2% 家庭用耐久財 -4.4% 室内装備品 -3.8%	100.3 (0.5)	101.0 (0.8)	100.4 (0.7)
4月	101.0 (0.9)	電気代 8.1% 野菜・海藻 6.5% 果物 5.7%	家庭用耐久財 -5.2% 菓子類 -4.4% 室内装備品 -3.6%	100.4 (0.4)	101.3 (1.0)	100.5 (0.6)
5月	100.6 (0.4)	野菜・海藻 8.6% 果物 7.1% 電気代 7.1%	家庭用耐久財 -6.7% 室内装備品 -6.2% 教養娯楽用耐久財 -3.5%	100.1 (0.2)	100.8 (0.5)	100.2 (0.3)
6月	100.1 (0.1)	穀類 6.8% 電気代 6.8% ガス代 3.8%	教養娯楽用耐久財 -13.7% 家庭用耐久財 -7.6% 室内装備品 -5.5%	99.6 (-0.2)	100.2 (0.1)	99.6 (-0.1)
7月	99.8 (-0.3)	電気代 6.3% 穀類 5.2% 寝具類 5.2%	教養娯楽用耐久財 -13.9% 家庭用耐久財 -9.7% 果物 -6.7%	99.3 (-0.4)	99.8 (-0.3)	99.3 (-0.5)
8月	100.2 (-0.2)	電気代 6.9% 穀類 4.8% 寝具類 4.8%	教養娯楽用耐久財 -15.1% 家庭用耐久財 -7.8% 室内装備品 -5.7%	99.4 (-0.4)	100.2 (-0.3)	99.4 (-0.4)
9月	100.1 (-0.3)	電気代 5.7% 寝具類 4.8% 穀類 3.5%	教養娯楽用耐久財 -15.1% 野菜・海藻 -11.2% 室内装備品 -6.7%	99.6 (-0.3)	100.2 (-0.4)	99.6 (-0.3)
10月	100.1 (-0.1)	寝具類 5.0% 電気代 4.3% 穀類 4.0%	野菜・海藻 -14.5% 室内装備品 -5.7% 理美容用品 -3.2%	99.6 (-0.4)	100.2 (-0.1)	99.6 (-0.4)
11月	99.8 (0.1)	他の光熱(灯油) 6.4% 家事雑貨 5.3% 寝具類 4.3%	果物 -6.8% 室内装備品 -5.1% 他の被服類 -3.7%	99.2 (-0.2)	99.8 (0.2)	99.2 (-0.1)
12月	100.0 (0.2)	教養娯楽用耐久財 9.5% 寝具類 7.0% 家事雑貨 5.7%	肉類 -4.2% 室内装備品 -4.0% 他の被服類 -3.3%	99.3 (-0.1)	100.1 (0.3)	99.3 (-0.1)

図2 月別の動向 平成22年=100



3 費目別指数の動き

平成24年平均の三重県消費者物価指数は、光熱・水道が上昇したことなどにより、全体では前年に比べ0.2%の上昇となりました。10大費目別に前年と比較すると、食料、光熱・水道、交通・通信が上昇し、住居、家具・家事用品、保健医療、教育、教養娯楽、諸雑費が下落しました。(図3、表4、図4)

(1) 食料

食料は101.0となり、前年に比べ0.7%の上昇でした。内訳をみると、前年に比べ上昇したのは、穀類が4.7%、魚介類が0.6%、肉類が2.4%、乳卵類が0.7%、果物が1.2%、油脂・調味料が0.2%、調理食品が1.2%でした。

一方、下落したのは、野菜・海藻が0.5%、菓子類が0.3%、酒類が1.9%でした。また、飲料は前年と同水準でした。

生鮮食品についてみると、生鮮魚介は年平均が102.8となり、対前年比は0.1%の上昇でした。

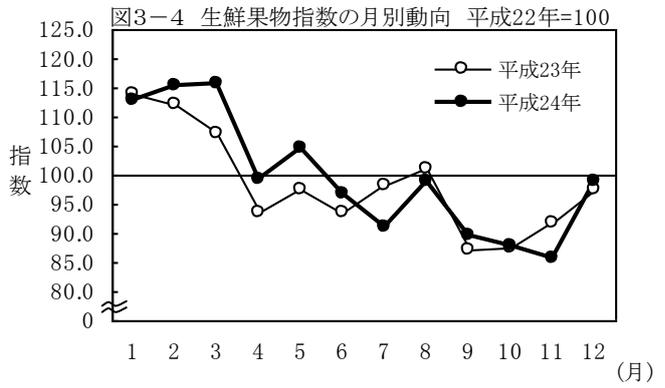
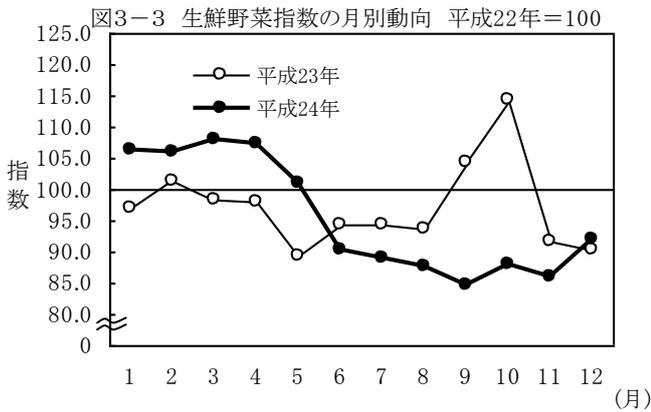
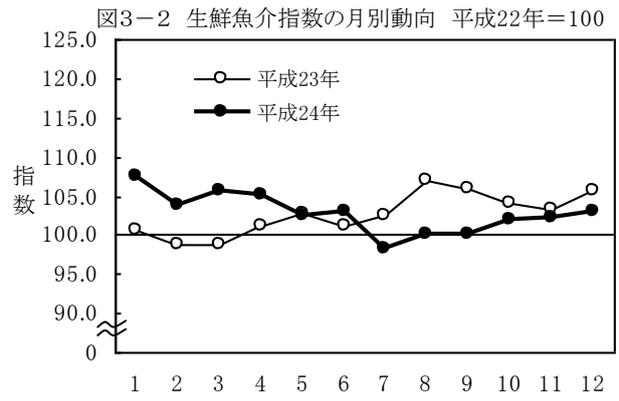
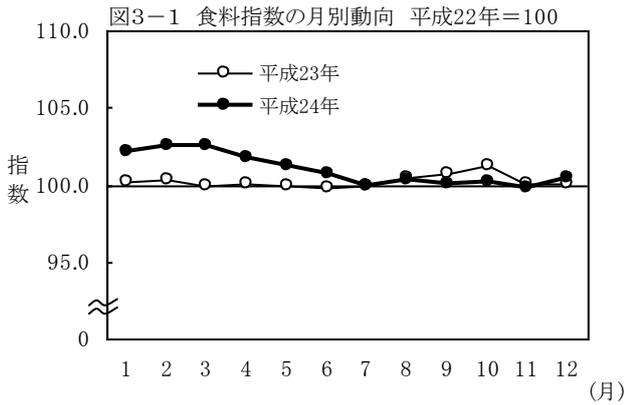
生鮮野菜は、95.5となり、対前年比は1.8%の下落でした。

生鮮果物は、99.7となり、対前年比は1.3%の上昇でした。

表4-1 食料の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指 数		対前年比(%)
	平成23年平均	平成24年平均	
食 料	100.2	101.0	0.7
穀 類	96.6	101.2	4.7
魚 介 類	101.5	102.1	0.6
生 鮮 魚 介	102.7	102.8	0.1
肉 類	104.2	106.7	2.4
乳 卵 類	100.9	101.6	0.7
野 菜 ・ 海 藻	98.7	98.3	-0.5
生 鮮 野 菜	97.3	95.5	-1.8
果 物	98.6	99.8	1.2
生 鮮 果 物	98.5	99.7	1.3
油 脂 ・ 調 味 料	99.0	99.2	0.2
菓 子 類	99.4	99.1	-0.3
調 理 食 品	103.4	104.7	1.2
飲 料	100.5	100.5	0.0
酒 類	99.0	97.1	-1.9
外 食	99.8	99.7	0.0



(2) 住居

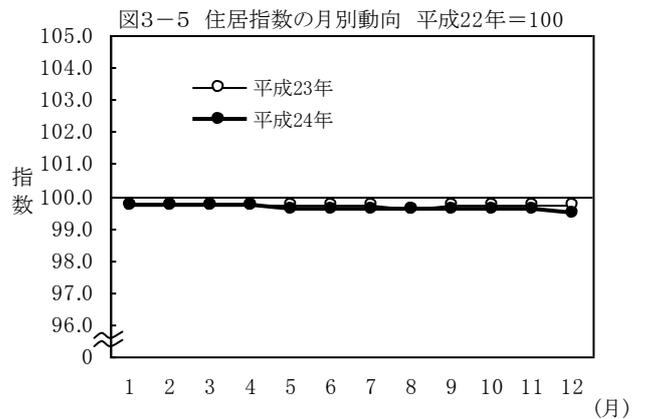
住居は99.6となり、前年に比べ0.1%の下落でした。

内訳をみると、家賃が0.1%の下落、設備修繕・維持が0.1%の上昇でした。

表4-2 住居の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成23年平均	平成24年平均	平成24年平均
住居	99.7	99.6	-0.1
持家の帰属家賃を除く住居	99.7	99.6	-0.1
家賃	99.7	99.6	-0.1
持家の帰属家賃を除く家賃	99.3	99.0	-0.3
設備修繕・維持	99.8	99.9	0.1



(3) 光熱・水道

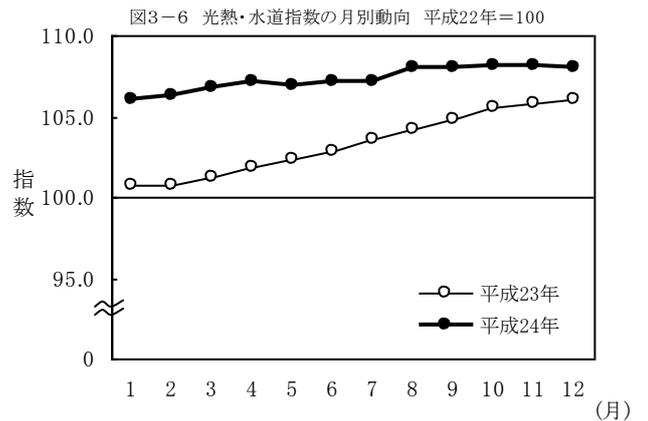
光熱・水道は107.3となり、前年に比べ3.9%の上昇でした。

内訳をみると、電気代が6.2%の上昇、ガス代が3.0%の上昇、他の光熱（灯油）が2.3%の上昇、上下水道料が0.2%の上昇でした。

表4-3 光熱・水道の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成23年平均	平成24年平均	
光熱・水道	103.3	107.3	3.9
電気代	103.0	109.3	6.2
ガス代	102.1	105.2	3.0
他の光熱	119.6	122.3	2.3
上下水道料	101.9	102.1	0.2



(4) 家具・家事用品

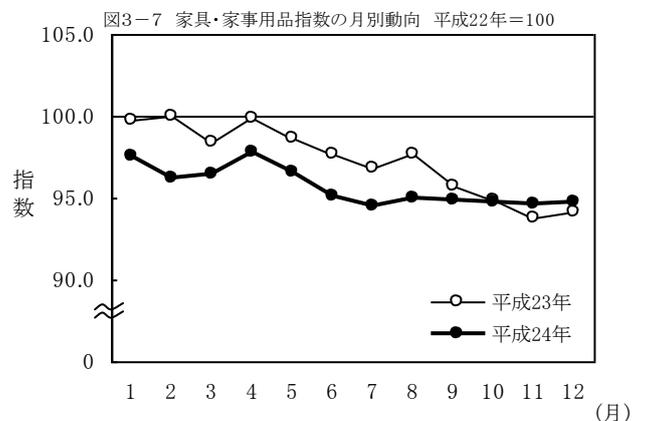
家具・家事用品は95.7となり、前年に比べ1.6%の下落でした。

内訳をみると、家庭用耐久財が5.4%の下落、室内装備品が5.1%の下落、寝具類が3.7%の上昇、家事雑貨が2.4%の上昇、家事用消耗品が1.5%の下落、家事サービスが0.2%の下落でした。

表4-4 家具・家事用品の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成23年平均	平成24年平均	
家具・家事用品	97.3	95.7	-1.6
家庭用耐久財	88.6	83.9	-5.4
室内装備品	100.5	95.4	-5.1
寝具類	97.3	101.0	3.7
家事雑貨	107.5	110.1	2.4
家事用消耗品	98.7	97.3	-1.5
家事サービス	101.5	101.3	-0.2



(5) 被服及び履物

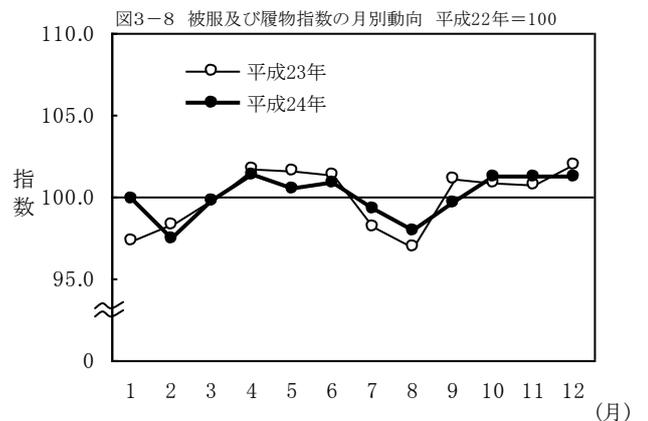
被服及び履物は100.0となり、前年と同水準でした。

内訳をみると、衣料が前年と同水準、シャツ・セーター・下着類が0.2%の上昇、履物類が0.6%の上昇、他の被服類が1.0%の下落、被服関連サービスが前年と同水準でした。

表4-5 被服及び履物の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成23年平均	平成24年平均	
被服及び履物	100.0	100.0	0.0
衣料	98.3	98.3	0.0
シャツ・セーター・下着類	103.9	104.1	0.2
履物類	99.9	100.4	0.6
他の被服類	95.7	94.8	-1.0
被服関連サービス	100.6	100.6	0.0



(6) 保健医療

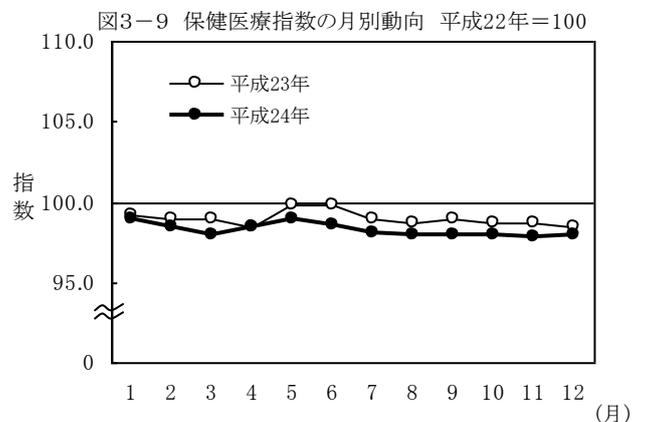
保健医療は98.3となり、前年に比べ0.7%の下落でした。

内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品が1.8%の下落、保健医療用品・器具が1.2%の下落、保健医療サービスが0.2%の上昇でした。

表4-6 保健医療の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成23年平均	平成24年平均	
保健医療	99.0	98.3	-0.7
医薬品・健康保持用摂取品	97.6	95.8	-1.8
保健医療用品・器具	99.0	97.9	-1.2
保健医療サービス	100.0	100.2	0.2



(7) 交通・通信

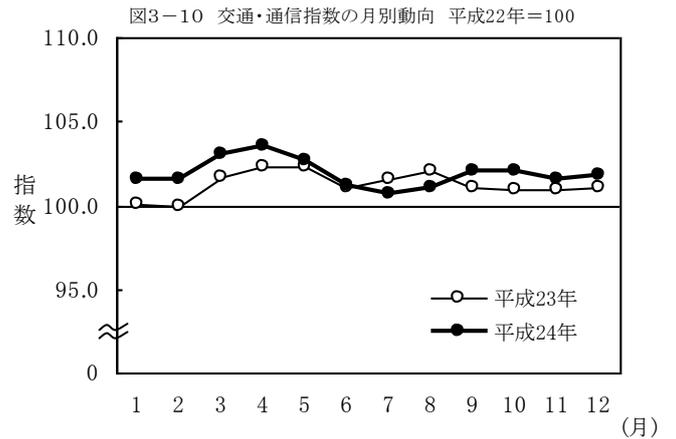
交通・通信は101.9となり、前年に比べ0.7%の上昇でした。

内訳をみると、交通が0.7%の上昇、自動車等関係費が1.3%の上昇、通信が1.2%の下落でした。

表4-7 交通・通信の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成23年平均	平成24年平均	
交通・通信	101.2	101.9	0.7
交通	100.3	101.0	0.7
自動車等関係費	102.1	103.4	1.3
通信	99.3	98.2	-1.2



(8) 教育

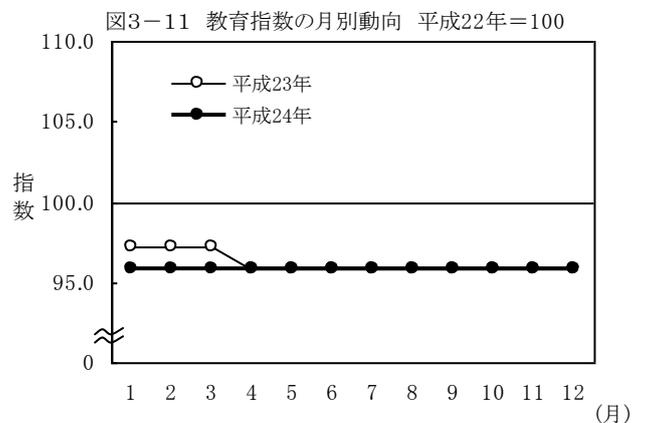
教育は95.8となり、前年に比べ0.4%の下落でした。

内訳をみると、授業料等が0.6%の下落、教科書・学習参考教材が1.9%の上昇、補習教育が前年と同水準でした。

表4-8 教育の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成23年平均	平成24年平均	
教育	96.2	95.8	-0.4
授業料等	94.5	93.9	-0.6
教科書・学習参考教材	100.1	102.0	1.9
補習教育	100.0	100.0	0.0



(9) 教養娯楽

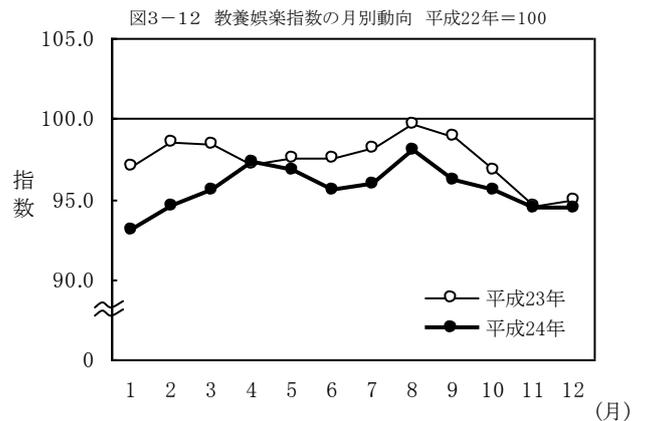
教養娯楽は 95.6 となり、前年に比べ 1.9% の下落でした。

内訳をみると、教養娯楽用耐久財が 10.7% の下落、教養娯楽用品が 0.5% の下落、書籍・他の印刷物が 0.5% の上昇、教養娯楽サービスが 1.1% の下落でした。

表 4-9 教養娯楽の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成23年平均	平成24年平均	
教養娯楽	97.5	95.6	-1.9
教養娯楽用耐久財	78.6	70.2	-10.7
教養娯楽用品	97.2	96.6	-0.5
書籍・他の印刷物	100.3	100.7	0.5
教養娯楽サービス	101.6	100.5	-1.1



(10) 諸雑費

諸雑費は 103.1 となり、前年に比べ 0.6% の下落でした。

内訳をみると、理美容サービスが前年と同水準、理美容用品が 1.9% の下落、身の回り用品が 0.6% の下落、たばこ、他の諸雑費が前年と同水準でした。

表 4-10 諸雑費の中分類指数と対前年比

指数：平成22年平均=100

中分類	指数		対前年比(%)
	平成23年平均	平成24年平均	
諸雑費	103.7	103.1	-0.6
理美容サービス	99.9	99.9	0.0
理美容用品	99.3	97.3	-1.9
身の回り用品	98.7	98.1	-0.6
たばこ	126.2	126.2	0.0
他の諸雑費	105.5	105.5	0.0

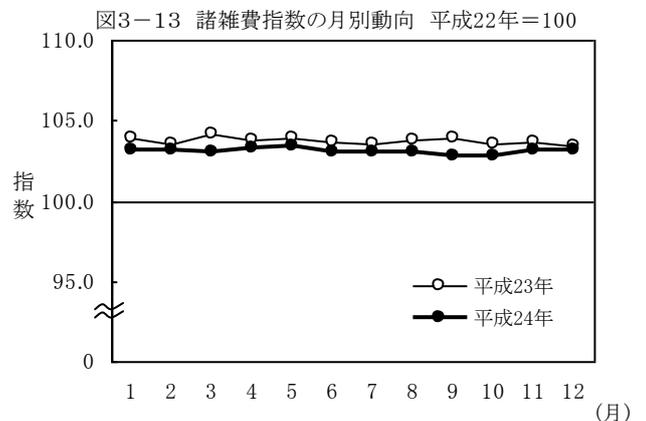
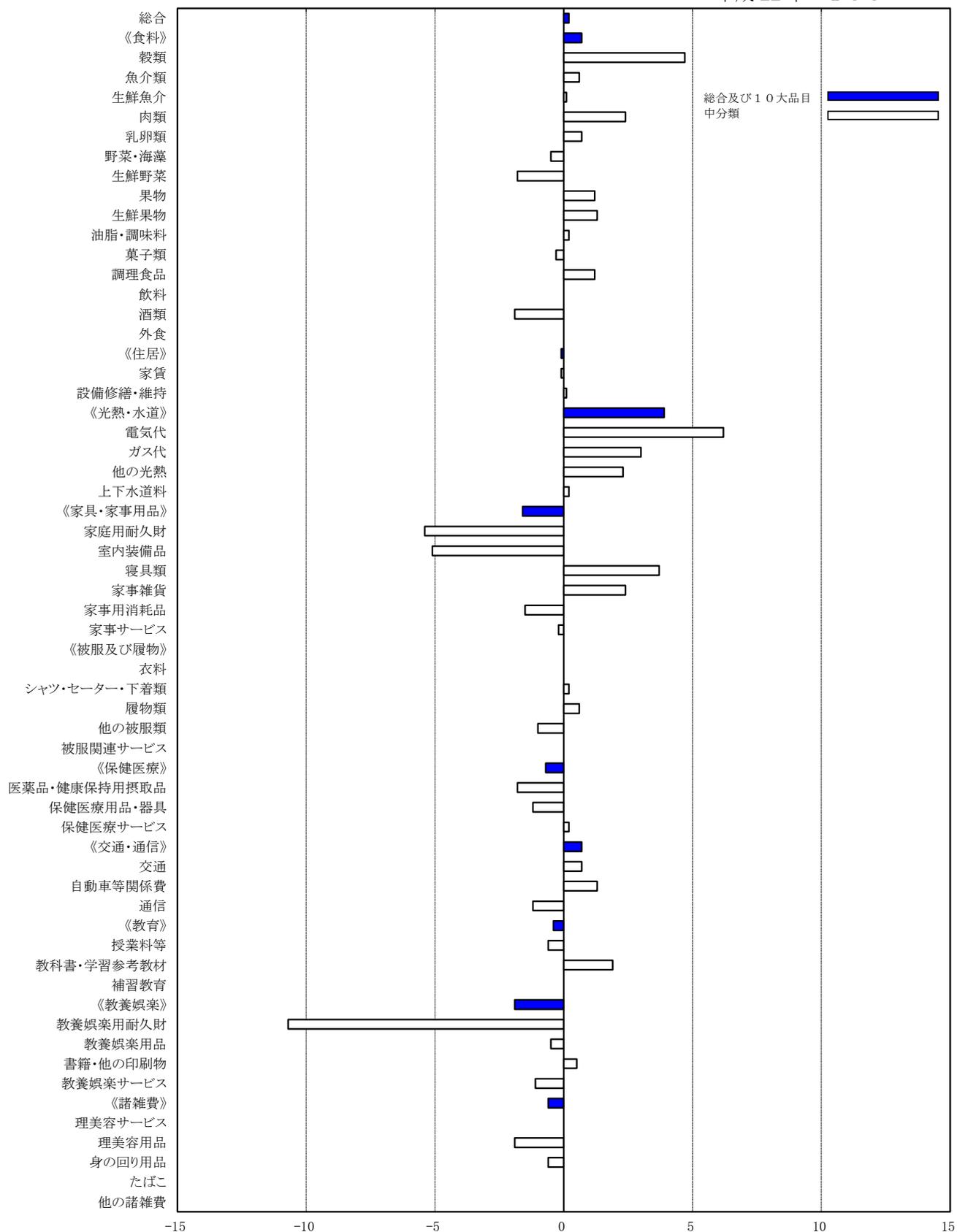


図4 費目別対前年比 (%)

平成 22 年 = 100



※ 二重括弧は10大費目を示しています。

4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とは、その費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

また、寄与率とは、総合の上昇率に占める各費目の寄与度（上昇率の割合）を 100 分比（各費目の寄与度（上昇率の割合）÷総合の上昇率×100）で表すものです。

平成24年三重県消費者物価指数の総合指数に影響を及ぼした寄与度を主な中分類別費目でみると、物価を押し上げる方向に働いた費目として、電気代（0.21）や、自動車関係費（0.13）、穀類（0.10）などが挙げられます。一方、物価を引き下げる方向に働いた費目としては、教養娯楽用耐久財（-0.14）、教養娯楽サービス（-0.08）、家庭用耐久財（-0.06）などが挙げられます。各費目の合計の結果、全体の寄与度は 0.19となりました。

（表 5、図 5）

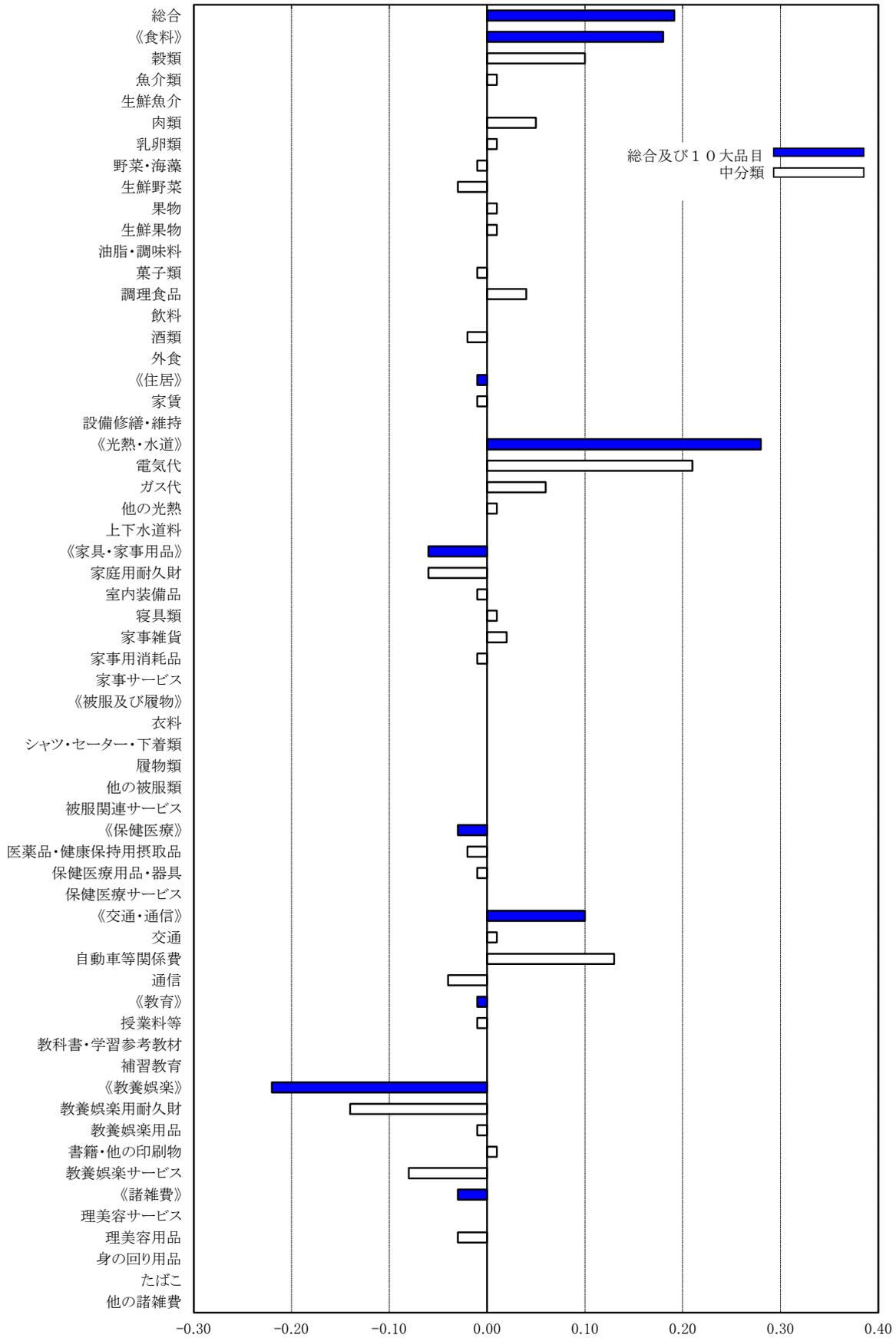
表5 中分類寄与度・寄与率

指数：平成22年平均＝100

	指 数		寄与度	寄与率(%)
	平成23年 平均	平成24年 平均	平成24年 平均	平成24年 平均
総合	100.1	100.3	0.19	100.0
持家の帰属家賃を除く総合	100.1	100.4	0.20	106.6
食料	100.2	101.0	0.18	93.5
穀類	96.6	101.2	0.10	52.4
魚介類	101.5	102.1	0.01	6.8
生鮮魚介	102.7	102.8	0.00	0.8
肉類	104.2	106.7	0.05	26.9
乳卵類	100.9	101.6	0.01	4.2
野菜・海藻	98.7	98.3	-0.01	-5.6
生鮮野菜	97.3	95.5	-0.03	-14.0
果物	98.6	99.8	0.01	5.6
生鮮果物	98.5	99.7	0.01	5.6
油脂・調味料	99.0	99.2	0.00	1.3
菓子類	99.4	99.1	-0.01	-3.3
調理食品	103.4	104.7	0.04	18.5
飲料	100.5	100.5	0.00	-0.4
酒類	99.0	97.1	-0.02	-10.3
外食	99.8	99.7	0.00	-0.7
住居	99.7	99.6	-0.01	-7.0
持家の帰属家賃を除く住居	99.7	99.6	0.00	-2.6
家賃	99.7	99.6	-0.01	-6.1
持家の帰属家賃を除く家賃	99.3	99.0	-0.01	-3.4
設備修繕・維持	99.8	99.9	0.00	1.6
光熱・水道	103.3	107.3	0.28	145.7
電気	103.0	109.3	0.21	109.3
ガス	102.1	105.2	0.06	30.3
他の光熱	119.6	122.3	0.01	4.8
上下水道料	101.9	102.1	0.00	1.3
家具・家事用品	97.3	95.7	-0.06	-29.1
家庭用耐久財	88.6	83.9	-0.06	-30.0
室内装備品	100.5	95.4	-0.01	-6.7
寝具類	97.3	101.0	0.01	4.5
家事雑貨	107.5	110.1	0.02	9.9
家事消耗品	98.7	97.3	-0.01	-5.7
家事サービス	101.5	101.3	0.00	-0.4
被服及び履物	100.0	100.0	0.00	0.4
衣料	98.3	98.3	0.00	-0.1
シャツ・セーター・下着類	103.9	104.1	0.00	1.2
履物類	99.9	100.4	0.00	1.3
他の被服類	95.7	94.8	0.00	-1.7
被服関連サービス	100.6	100.6	0.00	-0.1
保健医療	99.0	98.3	-0.03	-15.3
医薬品・健康保持用摂取品	97.6	95.8	-0.02	-12.8
保健医療用品・器具	99.0	97.9	-0.01	-4.7
保健医療サービス	100.0	100.2	0.00	2.1
交通・通信	101.2	101.9	0.10	52.7
交通	100.3	101.0	0.01	6.0
自動車等関係費	102.1	103.4	0.13	68.6
通信	99.3	98.2	-0.04	-22.7
教育	96.2	95.8	-0.01	-5.7
授業料等	94.5	93.9	-0.01	-6.7
教科書・学習参考教材	100.1	102.0	0.00	1.1
補習教育	100.0	100.0	0.00	0.0
教養娯楽	97.5	95.6	-0.22	-116.5
教養娯楽用耐久財	78.6	70.2	-0.14	-71.2
教養娯楽用品	97.2	96.6	-0.01	-6.7
書籍・他の印刷物	100.3	100.7	0.01	3.3
教養娯楽サービス	101.6	100.5	-0.08	-39.9
諸雑費	103.7	103.1	-0.03	-17.2
理美容サービス	99.9	99.9	0.00	-0.2
理美容用品	99.3	97.3	-0.03	-14.2
身の回り用品	98.7	98.1	0.00	-2.1
たばこ	126.2	126.2	0.00	0.0
他の諸雑費	105.5	105.5	0.00	-0.1

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

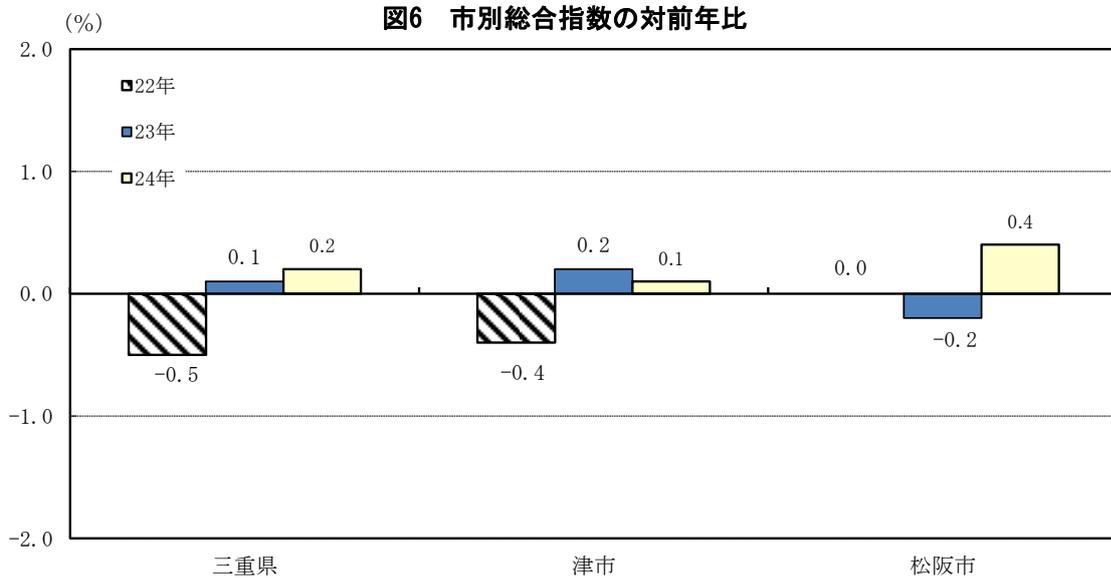
図5 消費者物価指数の対前年比に対する寄与度 平成22年=100



※ 二重括弧は10大費目を示しています。

5 各市の動き

県内2市の消費者物価指数の動きを対前年比で見ると、津市で0.1%、松阪市^{*}で0.4%、
 でした。(図6、表6)



*時系列での変動を比較するため、平成11年以降の旧合併特例法による合併前の旧市地域での調査としています。

(内訳)

2市ともに食料、光熱・水道、交通・通信が上昇し、家具・家事用品、保健医療、教育、教養娯楽、諸雑費が下落しました。

市別にみると、津市では、光熱・水道が3.9%の上昇で10大品目中最大の上昇幅となっています。また、家具・家事用品が2.0%の下落で10大品目最大の下落幅となっています。

松阪市では、光熱・水道が4.3%の上昇で10大品目別最大の上昇幅となっています。また、家具・家事用品が3.1%の下落で10大品目中最大の下落幅となっています。

表6 都市別10大費目別対前年比

(単位：%)

	総 合	持 家 の 除 く 総 合 を	食 料	住 居	光 熱 ・ 水 道	家 具 ・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 ・ 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸 雑 費
津市	0.1	0.2	0.3	0.0	3.9	-2.0	0.0	-0.7	0.8	-0.3	-1.8	-0.5
松阪市	0.4	0.5	1.6	0.0	4.3	-3.1	0.5	-0.3	0.7	-0.3	-2.2	-0.3